

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年01月19日

計画の名称	岩出市公共下水道事業〔第3期〕（重点計画）												
計画の期間	令和06年度～令和09年度（4年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	岩出市												
計画の目標	公共下水道の整備を推進するとともに普及を促進し、安心安全な市民生活の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,000	A	5,908	B	0	C	92	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.53	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R6当初	中間目標値 R7末	最終目標値 R9末
1	公共下水道処理人口普及率を60%(R6)から78%(R9)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人) × 100	60%	69%	78%
2	地域防災計画上、マンホールトイレの整備が必要な箇所に対する整備率を92%(R6)から100%(R9)にする。 マンホールトイレの整備率 マンホールトイレ整備箇所数(箇所) / マンホールトイレを整備すべき箇所数(箇所) × 100	92%	92%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

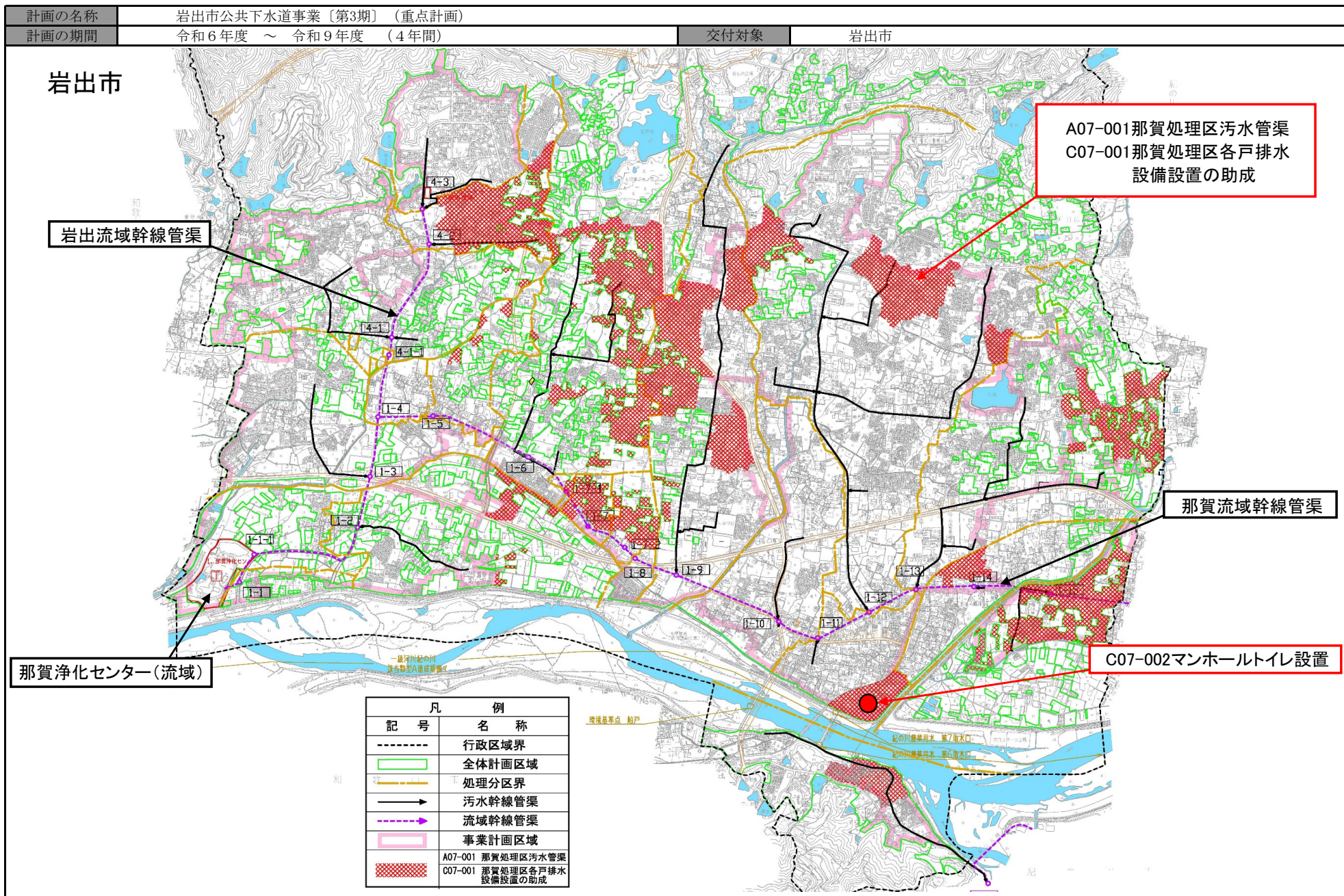
A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岩出市	直接	岩出市	管渠(汚水)	新設	那賀処理区汚水管渠	汚水管 200~350mm L=40,000m	岩出市						5,908	-	
											小計						5,908		
											合計						5,908		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R06	R07	R08	R09	R10				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岩出市	間接	個人	-	-	那賀処理区各戸排水設備 設置の助成	宅内排水設備1080戸	岩出市						72		-	
		基幹事業で整備する下水道の面的整備に併せて、地域住民に各戸排水設備設置を助成することで、地域を流れる紀の川の水環境改善につながる早期の水洗化に住民自らも取り組むことができる。																		
	C07-002	下水道	一般	岩出市	直接	岩出市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ設置	1箇所	岩出市							20		-
		基幹事業と被災時における避難所のトイレを一体的に整備することで、防災機能を高める。																		
											小計						92			
											合計						92			

参考図面（社会資本整備総合交付金）



# 事前評価チェックシート

計画の名称： 岩出市公共下水道事業〔第3期〕（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合等 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標の客観性・具体性・地域性 1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 目標の客観性・具体性・地域性 2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 接続促進の取り組みが行われている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境 1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性・円滑な事業執行の環境 3) 事業計画区域拡大が行われている	○